

**清須越・名古屋城築城前  
の名古屋台地・那古野村**





大  
三  
山

大  
三  
山

清  
夢  
院  
大  
三  
山

庚  
申  
山

楓  
の  
大  
木

松  
亭

大  
三  
山

大  
三  
山

書  
院

大  
三  
山

新  
御  
供  
所

中  
門

## 金城温古録より 那古屋古図 二通

第一図・・名古屋村庄屋より御普請奉行に  
書き出し候写之由

第二図・・慶長以前那古野村の図、寛永10  
年(1634年)、当村庄屋より出す



# 南半分

(今、水野内蔵屋敷近所)

(今、鍋屋…)

⑮名古屋  
三??屋敷

養蓮寺

⑫泥江神社

(今、廣井八幡)

社神江泥

⑪萬松寺

萬松寺

⑭小袖懸松

(武平町ヨリ  
七本松工 出ル道)

(小社富士塚町…)

此遍前山ト唱へ…

神主  
前山五郎左衛

⑬富士淺間社

小袖川

(今、小塚町三年坂?)

駿河街道

(蒲焼町)



SUNSHINE SAKAE

蒲焼町

フジ  
ロト コーポレーション

マイナビ



桜天神

駿河街道  
(飯田街道)

誓願寺

慶応元年(1865年)名古屋城下図



住友商事  
ビル  
(桜通角)



河合ビル  
APA  
ホテル  
「小袖懸けの松」  
案内板  
旧小塚町



河合ビル

旧小塚町



## 「小袖懸けの松」の由来

この地は、名古屋台地の東端線に位置し、名古屋城築城以前は、自然に恵まれ眺望のよいところであった。築城後は、甚盤割の街づくりがされ、この辺りは袋町筋と本重町筋の間で町人の町・小塚町（のち、小市場町と合併）として栄えた。その昔、この地に「小袖懸けの松」と呼ばれた古い松があり、古書に多くの伝説が記されている。

一、治承三年（一一七九）平清盛により京を追われ井戸田（現瑞穂区）に謫居していた太政大臣藤原師長（藤原師長）に関するものがある。師長が謫居一年余の後、赦免され帰京の際、彼に馴れ仕えた娘に愛用の琵琶を贈った。娘は恋慕を押さえきれず送別の帰途、古松に小袖をかけ、入水したという。

二、いつの時代か不明であるが、兵乱のため、この辺の人々が四方に逃避し、乱が止んでそれぞれが地元に戻った。しかし、長者の娘は帰らず、両親は八方探し回った。娘の小袖が古松にかかっているのを見つけた。両親は悲嘆、小袖を埋め、塚を作ったという。

人々は、その松を「小袖懸けの松」または「小袖松」といい、この辺りを「小袖塚」というようになった。

松植樹 平成十年十月

寄贈 名古屋中央大通連合発展会





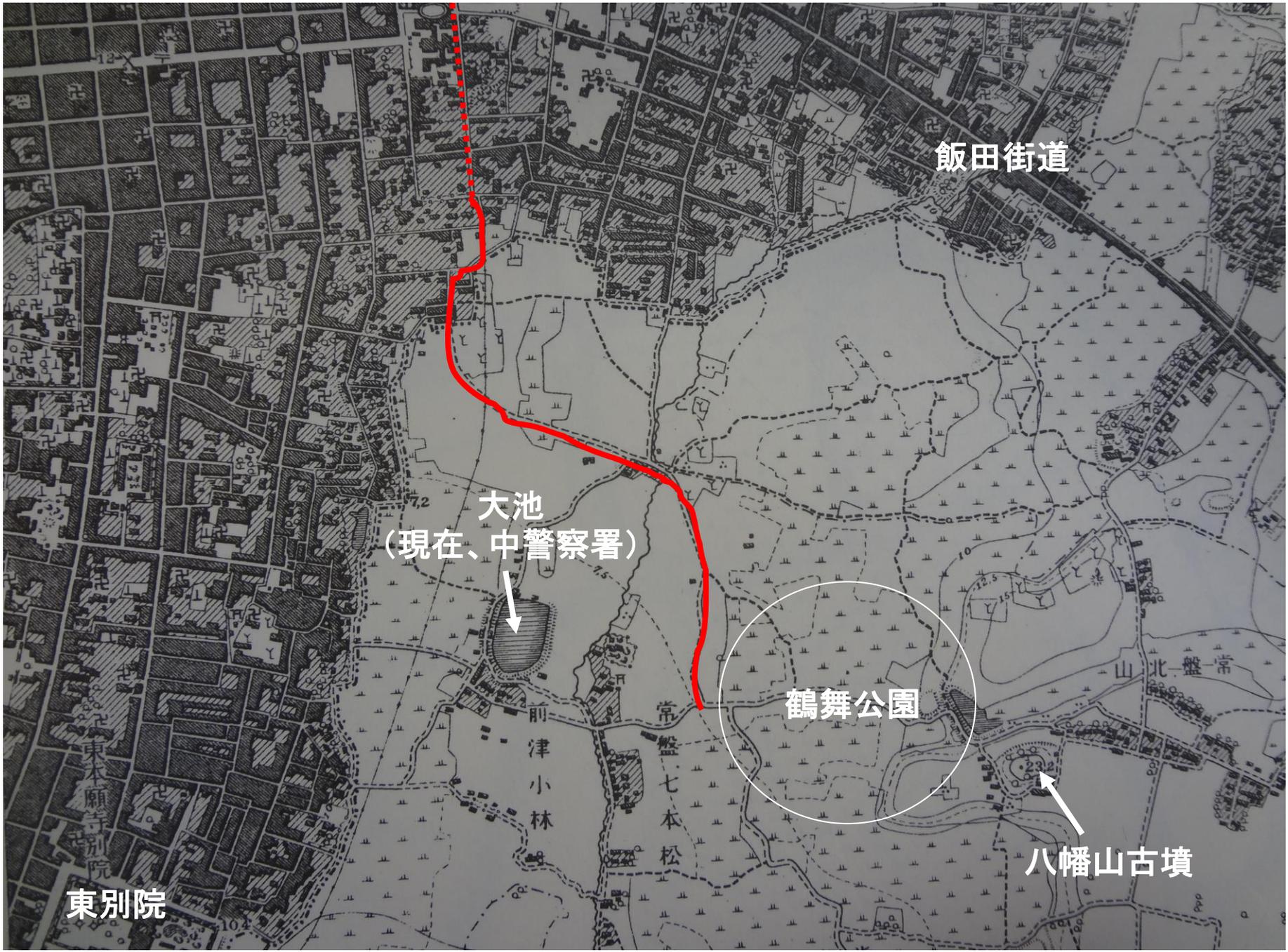
武平町通から  
北を臨む  
左手にジャズインラブリー  
正面は桜通



久屋大通を背に  
飯田街道を臨む

# 富士神社





飯田街道

大池  
(現在、中警察署)

鶴舞公園

八幡山古墳

東別院

前津小林

常盤七本松

山北盤寺



飯田街道

武平町通

中警察署

七本松通

鶴舞公園

東別院

七本松交差点

八幡山古墳

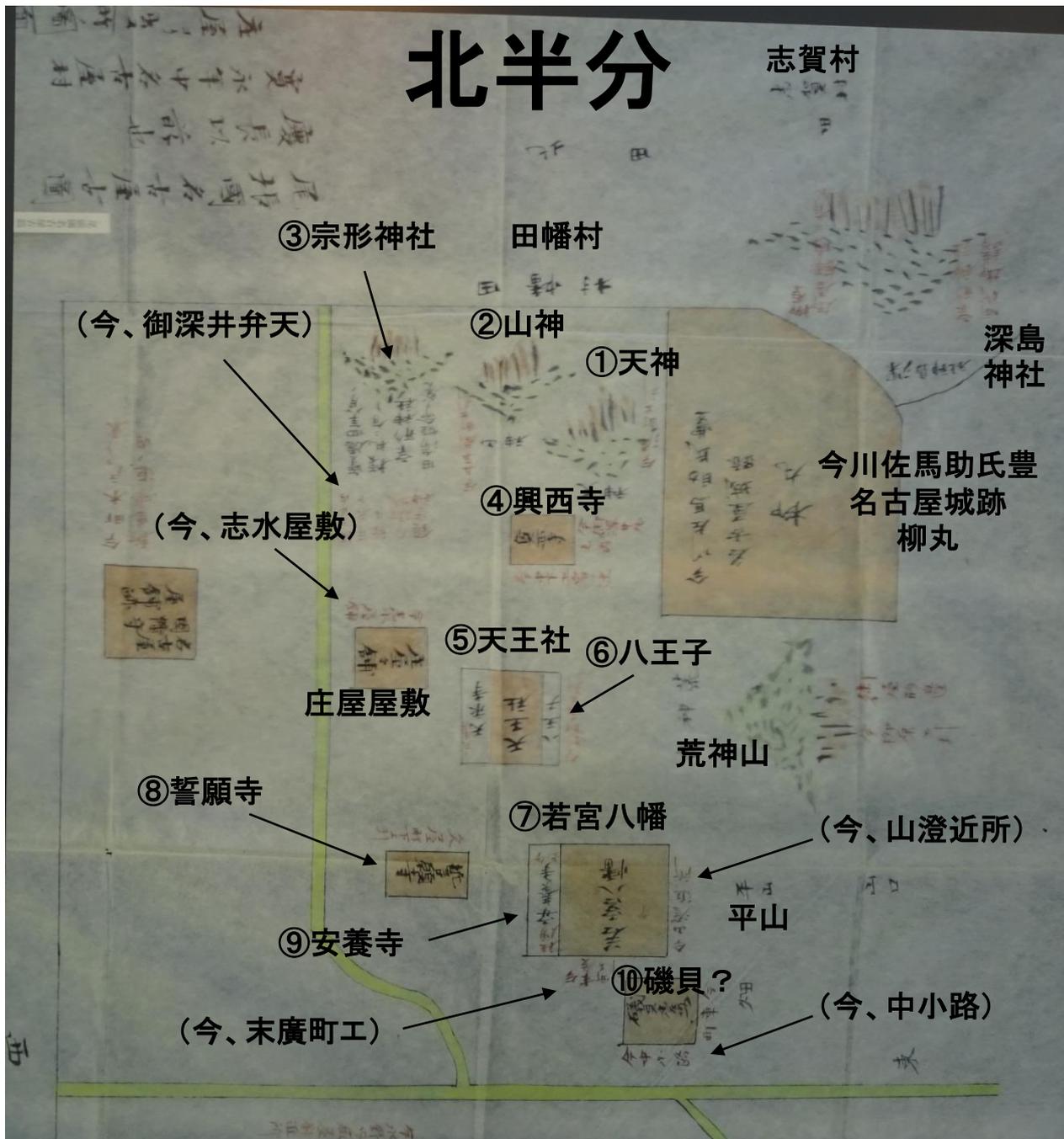


七本松通  
Hichihommatsu-dori

大須通

# 北半分

志賀村



③宗形神社

田幡村

(今、御深井弁天)

②山神

①天神

深島神社

(今、志水屋敷)

④興西寺

今川佐馬助氏豊  
名古屋城跡  
柳丸

⑤天王社

⑥八王子

庄屋屋敷

荒神山

⑧誓願寺

⑦若宮八幡

(今、山澄近所)

⑨安養寺

平山

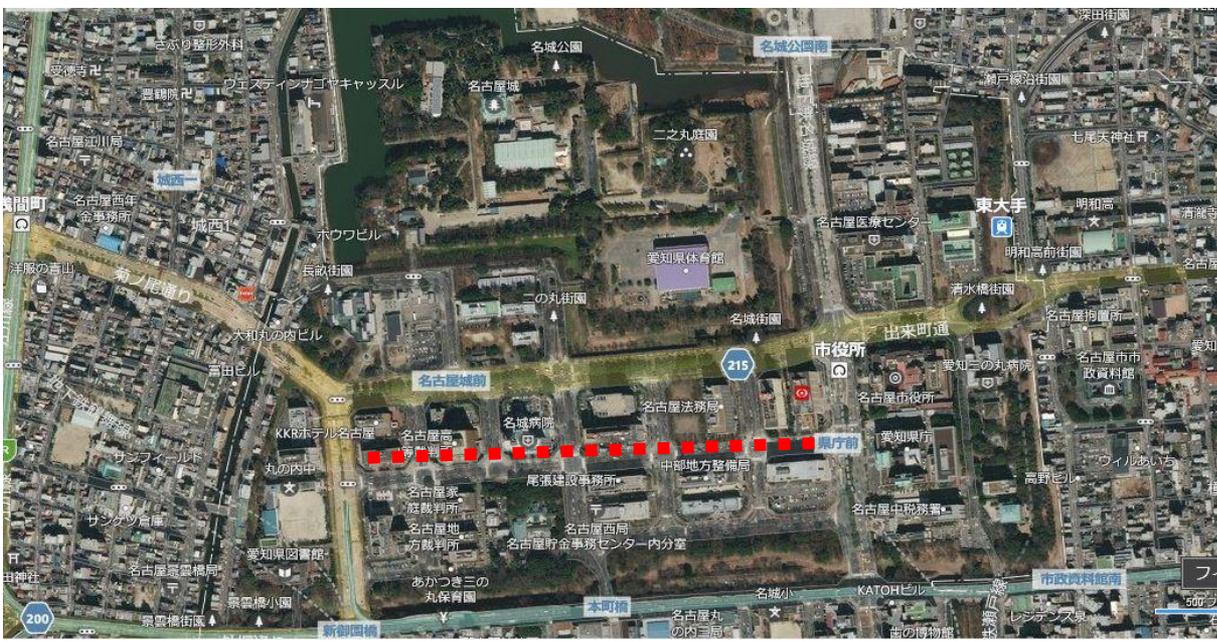
(今、末廣町工)

⑩磯貝?

(今、中小路)

# 北図のポイント

- (江戸時代の) 中小路の位置
- 天王社は移動していない
- 天王社の真東(愛知県体育館付近)に荒神山? 二の丸は、自然の地形を生かした?
- 若宮八幡は「(江戸時代の) 山澄近所」





愛知県  
体育館

能楽堂

水資源  
機構

江戸時代の  
中小路

市役所

裁判所

名城  
病院

愛知  
県警

県庁

丸の内  
中学

護国  
神社



**江戸時代の「中小路」周辺**  
**\* 正面が愛知県庁**

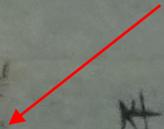
今、志水屋敷



志水屋敷

天王社  
天永寺

今、山澄近所



山澄八幡  
社

平山

久田

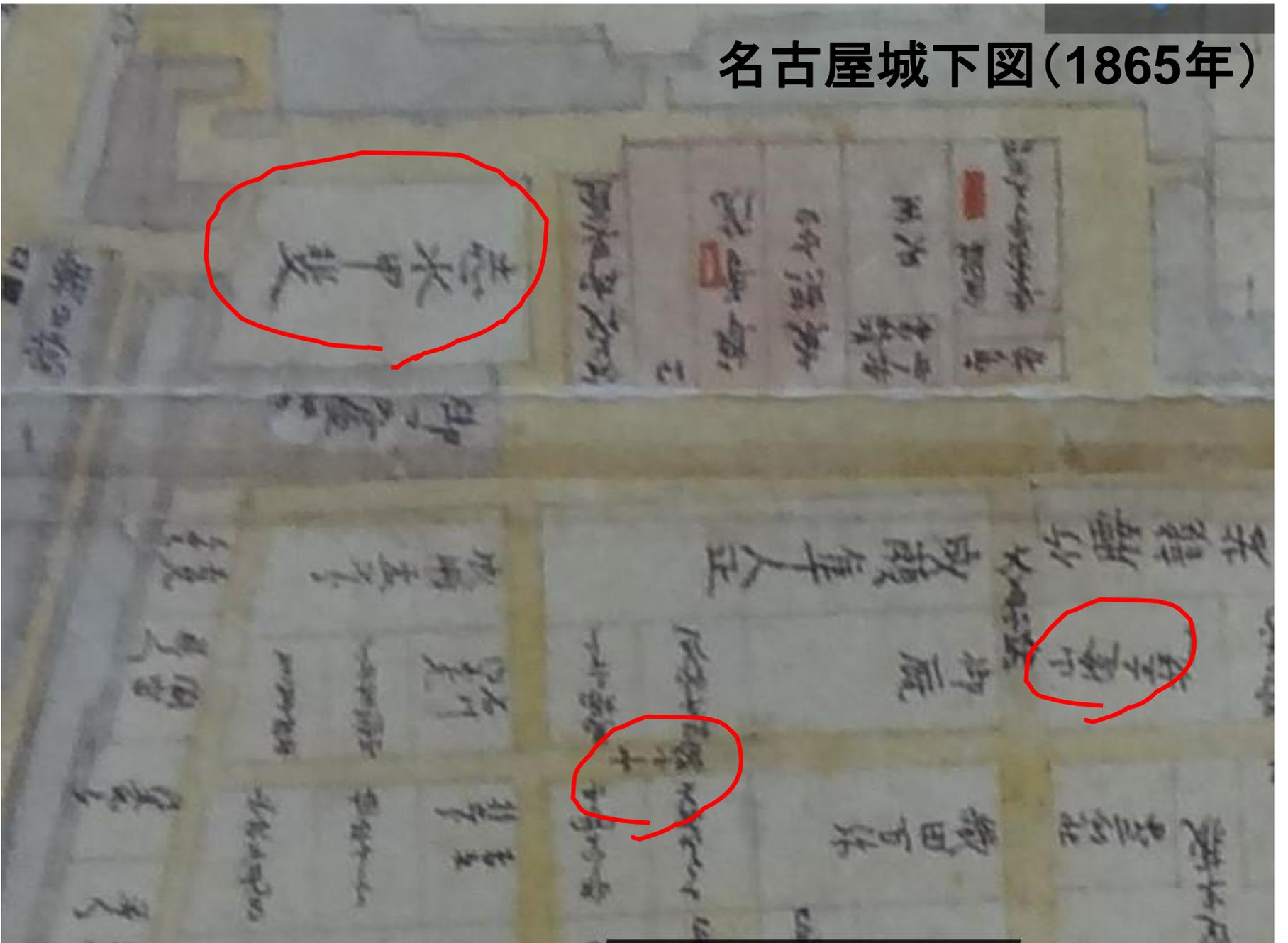
今、中小路

今中六路

鐵道



# 名古屋城下図(1865年)



志米甲斐

志米甲斐

志米甲斐

# 尾張徳川家の重臣

- 成瀬氏・・・付家老35000石。家康の岡崎時代からの重臣。
- 竹腰氏・・・付家老30000石。義直の生母：お亀の方の最初の嫁ぎ先であり、竹腰正信は、義直の義兄。
- 志水氏・・・10000石。義直の生母：お亀の方の父：志水宗清は、京都：石清水八幡の分家
- 山澄氏・・・5000石。北畠氏の支流：川方氏の末裔

# 江戸時代の おおまかな位置

志水甲斐守

天王社

成瀬邸

竹腰邸

愛知県警

名城病院

山澄邸

←中小路→

築城前のおおまかな位置

庄屋？

天王社

誓願寺

若宮八幡

磯貝邸

←中小路→

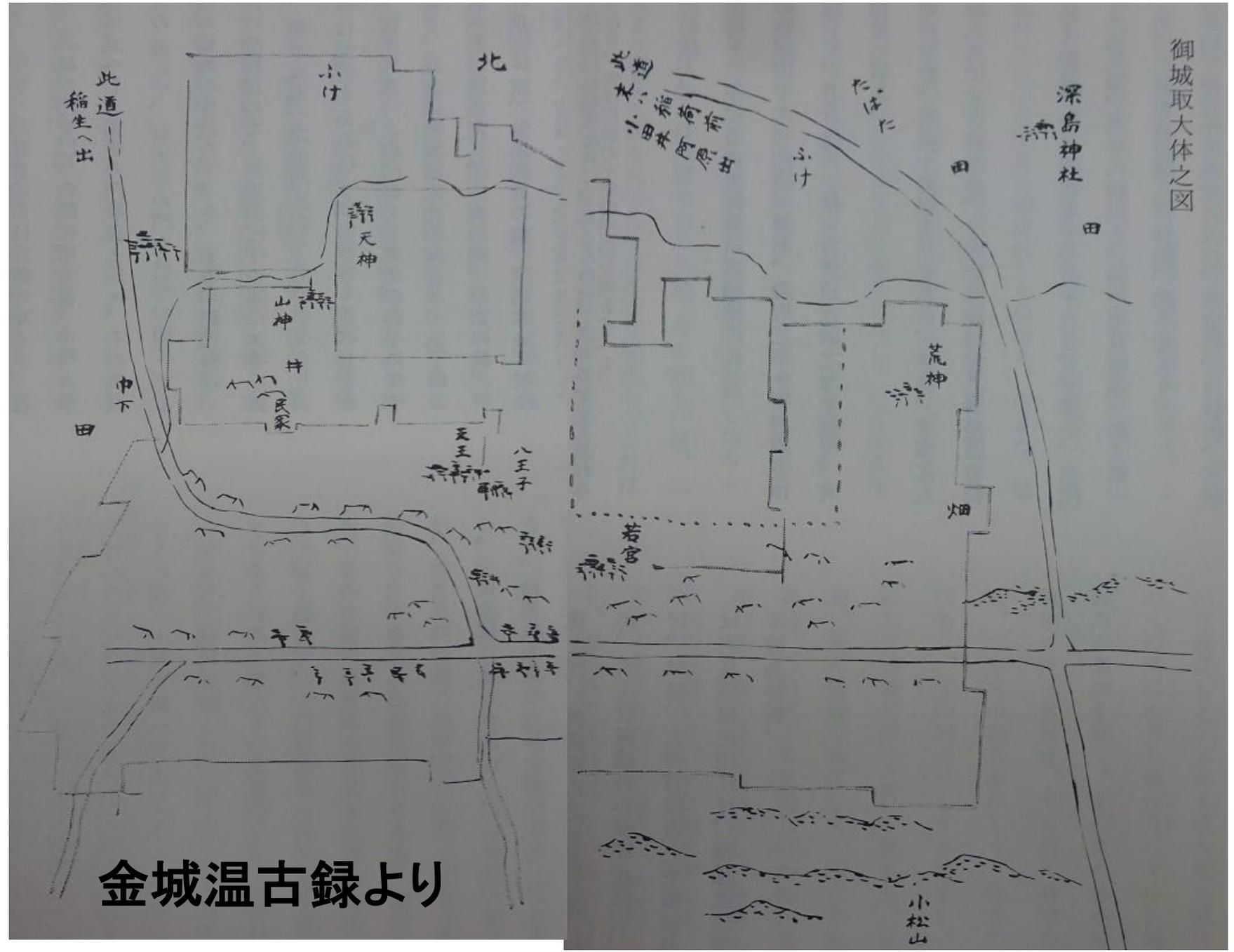


県警本部を南西(中小路)から

# 名城病院を 南東(中小路)から



御城取大体之図



金城温古録より

# 御城取大体之図から読み取られること

- ・築城前の台地の北端（但し、ブラタモリでの解説と少し異なる部分も）
- ・織田信長が20年過ごした那古野城(点線部分)は、意外と広範囲だった？
- ・東区市政資料館周辺が山だった？
- ・久屋公園から丸の内3丁目にわたって広範囲に山が連なっていた？
- ・お城の北東角(現在、県職員住宅)も、「荒神」と呼ばれていた？
- ・西側の南北道は、稲生に向かって真北方向に設けられていた？
- ・東側の南北道は、小田井に向かって西に曲がっていた？
- ・上記の2本の南北道は、少し北で交差していた？
- ・推測・・・中小路が美濃街道の前身につながっていた？



# 築城前の 台地の北端

御深井丸展示館

名城公園

Nagoya Jo  
Castle

西の丸展示館

Honmaru

＜参考＞金城温古録  
NHK「ブラタモリ」

三の丸茶

Pictometry Bird's Eye



家康が作った名古屋城  
モラーゴのねらいとは？

プラタモリ  
名古屋



家康が作った名古屋城  
モラーゴのねらいとは？

プラタモリ  
名古屋



盛り土の量が増えますし



愛知県  
体育館

名古屋医療  
センター

県職員住宅

検察庁

市役所

荒神？

明和高校



瀬戸電

荒神？

県職員住宅

明和高校

荒神？



金城温古録による  
那古野城(柳丸)推定地

那古野城跡碑

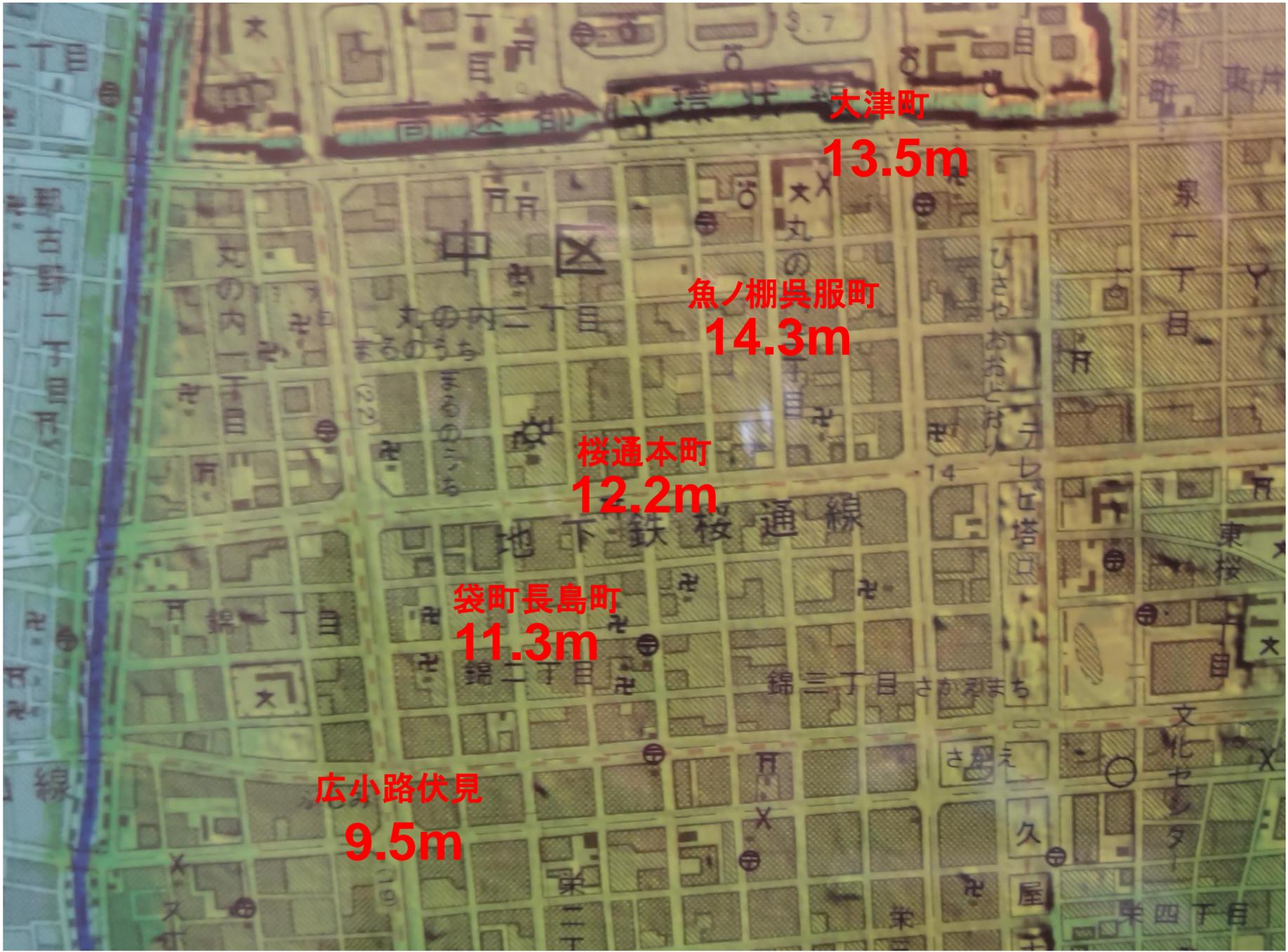




愛知県体育館



地下鉄「市役所」駅7番出口から  
西を臨む



大津町

13.5m

魚ノ棚呉服町

14.3m

桜通本町

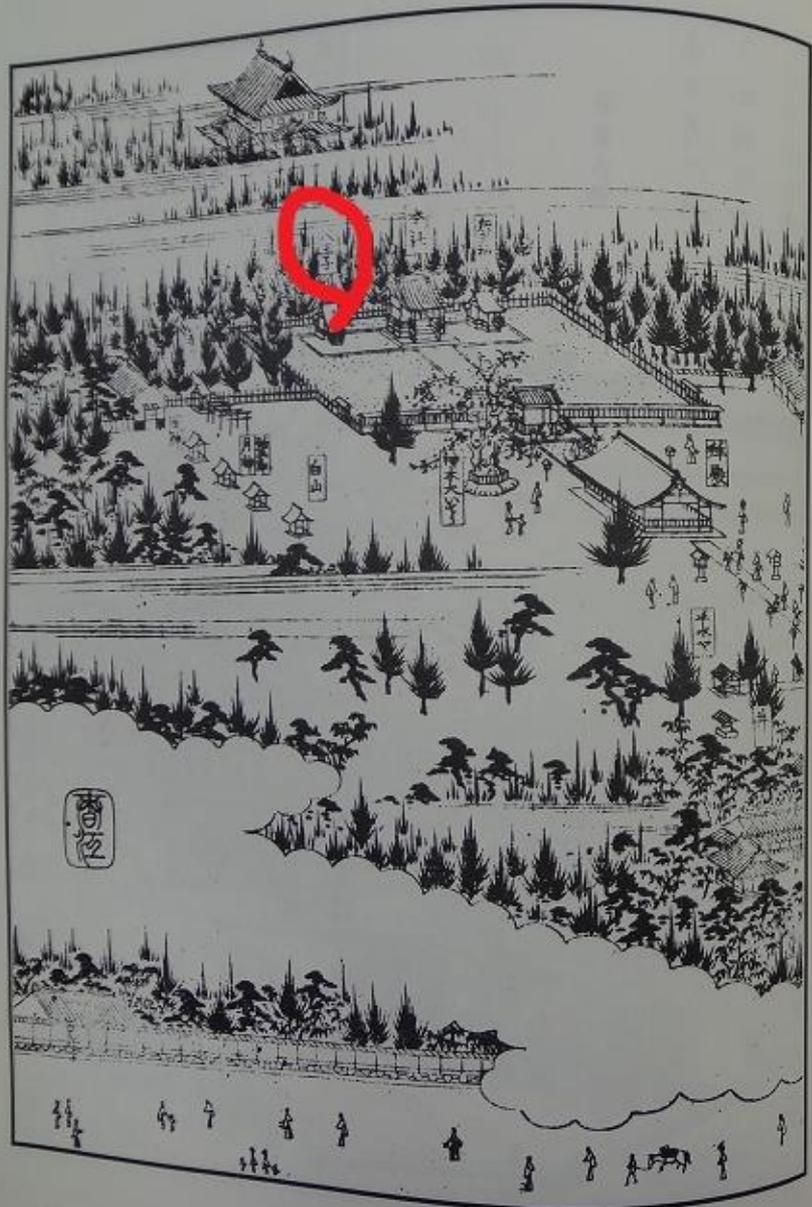
12.2m

袋町長島町

11.3m

広小路伏見

9.5m



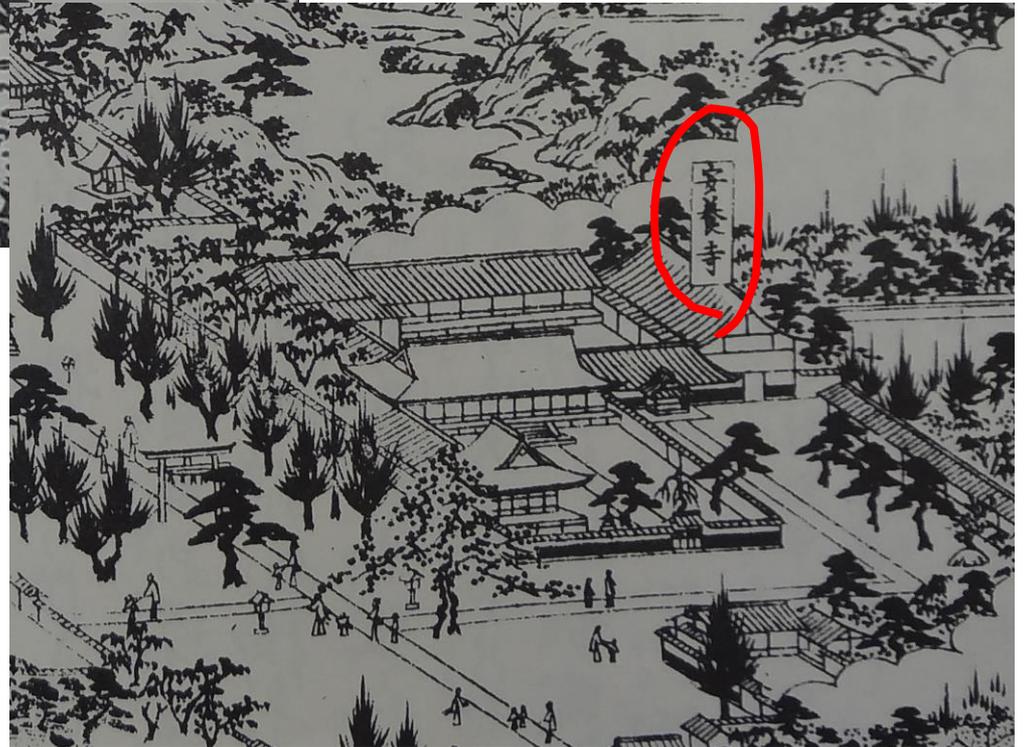
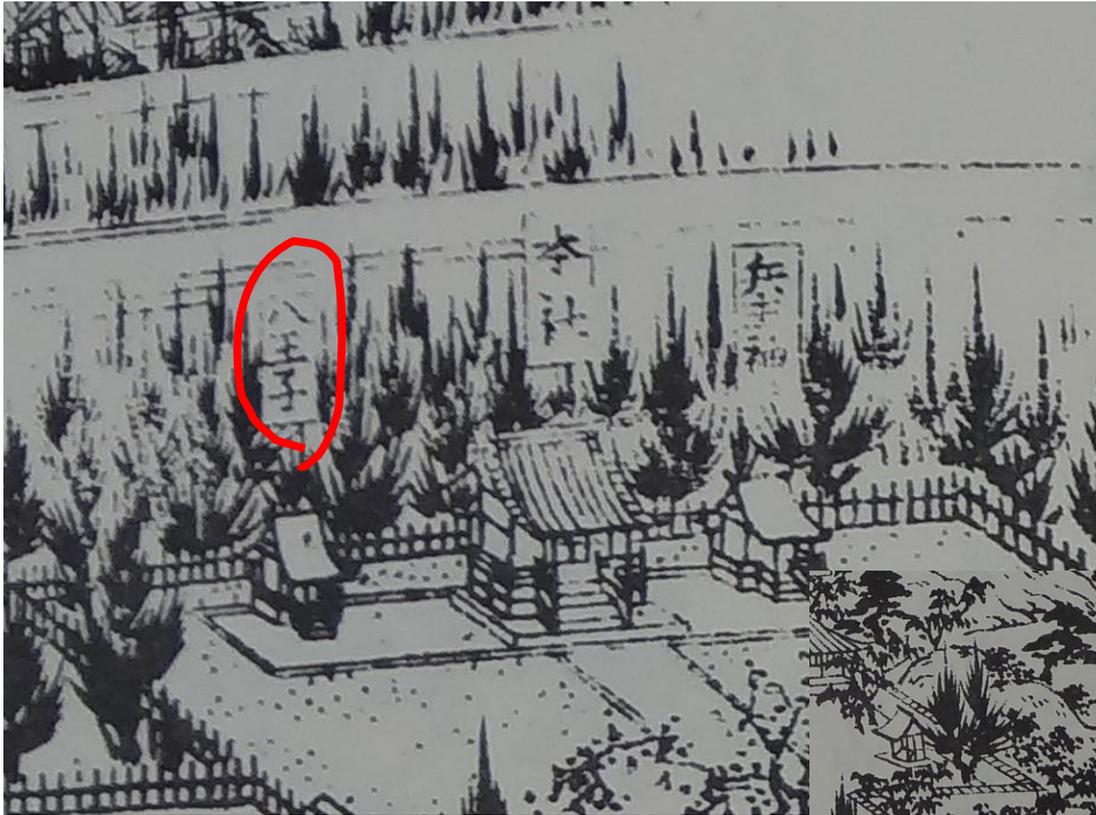
龜尾天王社

谷本村の北に社あり  
 昔よりと修りあり  
 時奉納此儀候に

年甲比治り候  
 入道前大納言登克

今更此里の  
 山と

龜尾尾あり



# 名古屋・那古野の歴史的初見

旧広橋家本「江家次第」裏書(東洋文庫蔵)

「建春門院法花堂領尾張国那古野庄領家職相伝系図」

名古屋市博物館企画展「熱田と名古屋」によると…

最初、白河院の近臣：葉室顕隆（はむろあきたか）

の孫：東大寺別当：**顕恵**が莊園開発。

その後、後白河上皇の女御：**健春門院**に寄進。

その後、鎌倉後期、美濃源氏：足助氏に。

さらに今川氏に

# 2012年NHK大河ドラマ「平清盛」相関図

